



①名物「高森牛の丸焼き」には常に人だかりの山が。約2,500人分 ②仕上げはサイコロ状に切り分けて ③子供たちも焼きたての高森牛の味に大満足 ④周東在住のシンガーソングライター 楓子さんは大学の仲間とミュージカルの一場面を披露 ⑤高森チンドン隊のパフォーマンスに会場はひととき盛り上がった ⑥福引大会では番号が読み上げられるたびに歓声とため息が ⑦景品は高森牛の詰め合わせや日本酒といった特産品など

第27回 周東食肉フェア

11月27日、周東ふれあい広場で「周東食肉フェア」が開催されました。27回目となるこのイベントは、高森牛の丸焼きをはじめとした食を中心に楽しめるお祭りとして、市内外から人気を集めています。今年はいにくの雨空となりましたが、多くの人が訪れ、食事を楽しんだり、お土産を買い求めたりしていました。ステージでは、神楽や空手の演武、よさこいなどが披露されたほか、特産品などが当たる福引大会も行われ、大いに盛り上がりました。



今年行われた「全日本牛枝肉コンクール」で、有限会社岩国ファームが出品した高森牛が、名誉賞を受賞しました。

この賞は全国から集まった黒毛和種の中の最高位1頭のみと与えられる賞で、今年は134頭の中から選ばれました。高森牛の受賞は2回目です。





感謝の気持ちを込めて 最後の文化祭

11月5・6日、周東中央公民館で「中央地区文化祭」が開催されました。

来年度に施設の建て替え工事が行われる予定のため、現在の施設で開催する最後の文化祭となりました。公民館での多くの思い出を胸に「風船とぼし」を行ったところ、高知県や愛媛県から風船が届いたと嬉しい便りがありました。



地元の祭りで大盛り上がり

11月6日、「本郷ふるさとフェスタ2016」がきらめき交流プラザ周辺で開催され、ステージイベントや写真コンクール、生涯学習作品展などを多くの人を楽しみました。バザーや出店も昼ごろには完売するお店が出るなど大にぎわい。最後の餅まきにも大勢の人が参加し、楽しい一日となりました。

Iwakuni City Topics | まちの話題



迫力の演奏に感動

11月11日、美和東小学校で、関西を中心に活躍するプロの金管アンサンブル「オルカプラス」の演奏会が行われました。

クラシックや子供たちに人気のアニメソングなどが演奏され、児童や保護者、地域の方は生の音楽に聞き入っていました。トランペットなどの楽器体験もあり、楽しい時間になりました。



夜間の外出には 反射材を忘れずに

11月10日、市役所1階ロビーで「高齢者の交通事故防止キャンペーン」が行われました。

えきまえ保育園の園児が「夜、外出するときは必ず反射材を付けてね」と連合婦人会、老人クラブ連合会の皆さんに反射材たすきを掛けた後、全員で「こうつうるーるをまもります」と、大きな声で交通安全宣言を行いました。



祭りで秋の楽しい一日

11月20日、錦町広瀬で「にしきふるさとまつり」が開催されました。園児のげんき太鼓を皮切りに、児童や生徒によるパフォーマンスや吹奏楽演奏、歌謡ショー、お笑いライブ、神楽演舞や全国から集まったよさこい演舞など多彩な催しで盛り上がりました。最後は餅まきで締めくくり、秋の楽しい一日を過ごしました。



思い出に残るふるさとの祭り

11月13日、美川小中共用グラウンドで「美川ふるさとまつり」が開催されました。太鼓、美川小中学校合唱、神楽、高森チンドン隊、歌謡ショーなど、多くの催しに会場はにぎわいを見せました。終盤のお楽しみ抽選会と餅まきは会場全体を盛り上げ、参加者全員の思い出に残る祭りになりました。



自慢の健脚を競う

11月20日、銭壺山をロードバイクで駆け上がるヒルクライムレース「第21回ツール・ド・ゆう」が開催されました。

最長距離8.2km、最大標高差540mの過酷な山道を、北は東京都から南は宮崎県まで各地から集まった250人以上の選手が、息を切らしながら駆け上がり、激戦を繰り広げていました。



歴史ロマンがよみがえる

11月20日、玖珂こどもの館で毎年恒例の「鞍掛城まつり」が開催されました。

天候が心配されたにもかかわらず、多くの親子連れや地元住民が訪れ、子供みこしやダンスといった各団体のパレードでにぎわいを見せました。メインイベントの鞍掛合戦出陣絵巻も、例年以上の盛り上がりを見せました。